

# 新レバレッジ規制スタートでどうなる!?

# FXシステムトレード 最新利用動向調査

ここ数年の間で、国内の個人トレーダーに普及し始めたFXのシステムトレード。この8月から新レバレッジ規制がスタートしたことで、その注目度は一段と上昇している。そこで、マネーポスト編集部と矢野経済研究所が、FXトレーダーにシステムトレードの利用動向を緊急調査。その結果をレポートする。

## システムトレード未利用者の動向

### 取引歴の浅い人ほど 利用意向が強い

一方、この未利用者のうちで、今後システムトレードを始めたいと考えている人は380名、33.2%にのぼっている。その利用意向がある人のFX取引経験を見ると、取引歴半年未満が50.5%と最も多く、投資経験が長くなるにつれて割合が減り、5年以上の取引歴があるトレーダーの場合は、27.5%となつていく(図2)。

なぜ、レバレッジ上限が規制されると、自動売買によるシステムトレード(以下、シストレ)が目されるのか? レバレッジが低くなると、証拠金を増やさないと、一度のトレードで大きな利益を得ることは難しくなる。大きな利益を得るためには、トレード時間を長くして、トレード回数を増やさなければならない。しかし、仕事から帰宅してからの1~2時間しかトレードができない、という人にはトレード回数におのずと限界がある。そこで、四六時中

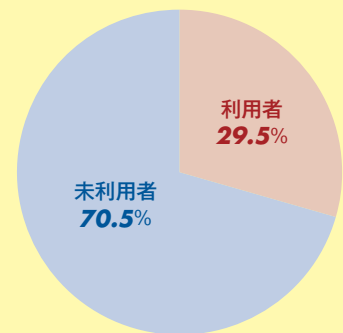
PCの前にいなくても、選んだ売買プログラムに沿って自動的にトレードができるシストレの出番、となるわけだ。

今回は8000人を対象とし、シストレの利用動向を調査した(有効回答数は1623件)。システムトレード未利用者とシステムトレーダーに分けて結果を掲載しているの、これからシストレに挑戦しようと考えている未経験者や、他のシステムトレーダーの考えていることが知りたい経験者にとって、非常に有益な情報となるだろう。

なっている(図2)。

未利用者の中でシストレの利用意向がある人(380名)を対象として、今後の最も利用したいシストレを聞くと、トップは「メタトレーダー(MT)」で、その割合は21.1%となった。さらに、今後最も利用したいシストレの提供会社は? という質問には、フォレックス・ドットコムジャパンと回答した人がいちばん多く32.6%にのぼり、僅差で、ひまわり証券(30.0%)、FXCMジャパン(25.3%)が続いた(図3)。

シストレ利用者の割合



### 調査概要

実施期間: 2011年6月17日~20日

調査方法: Webアンケート

アンケート配信数: 8000人

アンケート回収数: 1623人  
(すべてFX投資家)

### 内訳

システムトレード利用者 479人  
システムトレード未利用者 1144人

図1 自動売買を始めない理由

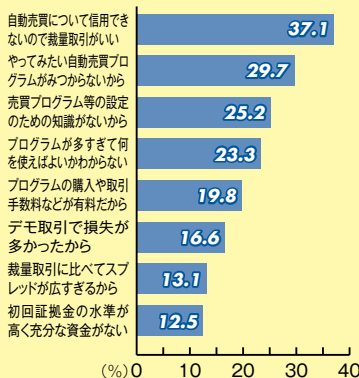


図2 今後シストレ・自動売買を利用したいか?

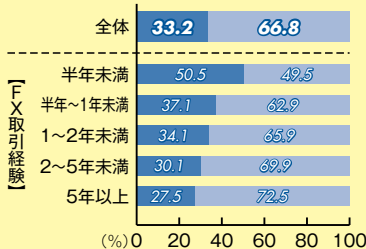
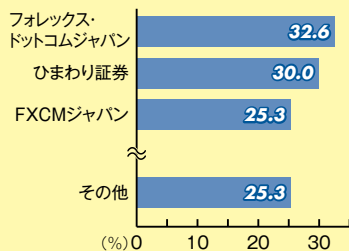


図3 今後検討しているシストレ・自動売買の提供会社



# システムトレーダーの動向

有効回答数のうち、すでにシストレを実際に利用している経験者は全体の29・5%と約3割。このシステムトレーダーを取引経験別に見てみると、取引歴3か月未満が32・4%と最も多く、未利用者同様、投資経験が長くなるにつれて割合が減る傾向となった(図4)。また、取引歴3か月未満というこ

とは、「FXを始める」シストレを利用する」というユーザーが多いと推定され、多くのトレーダーにシストレに対する認知度が高まっているといえよう。

システムトレーダーが現在利用している自動売買ツールは、トップから順に、「ミラートレーダー系」(37・6%)、「エコトレ」(35・7%)、「メタトレーダー」(33・0%)となったが、その割合は拮抗している状況(図5)。それぞれのツール利用者の内訳を、取引経

## 現在のツールへの満足度は比較的高い

自動売買ツールを選ぶ際に最も重視するポイントは、「システム、サーバーの安定性が高い」と回答した人がいちばん多く(82・5%)、続いて、「約定方の高さ」(78・5%)、「レートのスプレッドが狭い」(77・7%)、「勝率が高い」(73・5%)という結果に(複数回答)。

一方、比較的回答が少なかった項目は、「モバイルでも取引が可能」

「リッチクライアント版で取引ができる」といったポイントだが、5割程度は重視するとして回答している。

また、システムトレーダーの82・7%が、現在使っている自動売買ツールを今後も利用すると回答。他のツールへの乗り換え意向は、希薄なことが判明している。ただし、ツールの乗り換え意向があると答えた人で、乗り換え先として最も多く挙げたのがメタトレーダーの6・1%。

さらに、システムトレーダーが、総合的に判断して最も高い評価をするツールは、フォレックス・ドットコムジャパンのメタトレーダー(27・6%)、次が、僅差でひまわり証券のエコトレ(25・7%)となった(図6)。

## 「メタトレーダー」ユーザーの動向

最後は、メタトレーダーユーザー

1(158人)の動向について。メタトレーダーユーザーで、複数の口座を持っている人は59・5%と6割近くを占めている。特に、取引経験が3か月以上になると、7割近いユーザーが複数口座を保有している。

そして、複数口座を保有する人が、口座を開設している企業として挙げたのは、フォレックス・ドットコムジャパン、121証券、ODL JAPANと続いた。

また、日本国内で登録している海外のFX業者に口座開設しているユーザーは2割を超えていることが判明。

そして、メタトレーダーユーザーが、総合的に判断して最も評価するツール提供会社は、フォレックス・ドットコムジャパンで、その割合は55・1%と半数を超えたなかでも、2年以上の取引経験があるユーザーからの評価が高かった。

## シストレツールの基礎知識

ツール名称	メタトレーダー4 (MT4)	ミラートレード(オートFX、シストレーション)	エコトレ
開発会社	メタクォーツ社 (ロシア)	トレーデンシー社 (イスラエル)	オスピス社
特徴	最も知名度が高い。一般的なテクニカルに加え、投資家がカスタマイズしたテクニカルも利用できる。	複数の売買プログラムが用意されているので、その中から選べば、すぐに自動売買が始められる。	約100種類の売買システムが用意され、システムを選ぶだけで自動売買が始められる。

図4 シストレ・自動売買の取引歴

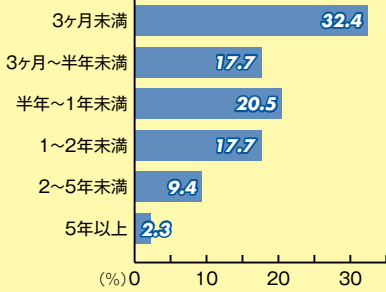


図5 現在または過去に利用したシストレ・自動売買ツール

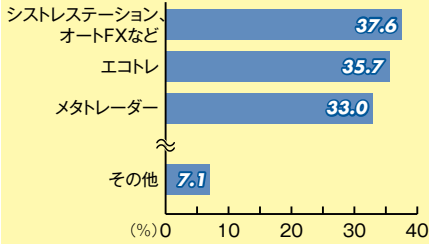
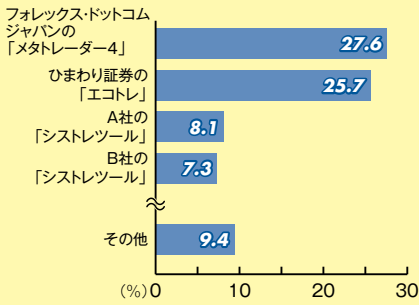


図6 最も高く評価するシストレ・自動売買ツール



## 総論

トレード経験の浅い人ほど、シストレに対する信頼が高く、同時に現在利用している自動売買ツールへの満足度が高いことがわかる。シストレでFXを始めた人が相当数にのぼると推定されることも興味深い。また、未利用者の関心は高く、新レバレッジ規制の導入によって、さらに認知度が高まるのが想定できるだろう。しかし、一生勝ち続けるシストレのプログラムはあり得ない。どれくらいの資金を使うのか、どの通貨ペアでやるのかなど、あらかじめしっかりとリスク管理と計画を持った上で使うことが大切。ときには裁量取引と組み合わせるなど、自分なりの工夫が必要となろう。